

第60回国民体育大会剣道競技結果

第1試合場			
確認	本部記録	戦評	記録
	宮本	片山	芦田

17

(成年男子)

平成17年10月25日(火)		第19試合	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝戦	3位決定戦	決勝戦	
主審	都道府県	順	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	総本数	勝敗
島本正勝	北海道	氏名	植根	畠山	栄花	古川	中山	3	8	
		試合	1 ㇀ 反相 2 則殺	1 ㇄ 反相 2 則殺	1 反相 2 ㇄ 則殺	1 反相 2 ㇄ 則殺	1 ㇄ 反相 2 ㇄ 則殺			
		3 回回	3 ㇄ 回回 [延長]	3 ㇀ 回回 [延長]	3 回回	3 回回	3 回回			
副審	大阪	経過	3 ㇄ 反相 2 ㇀ 則殺 1 回回	3 [延長] 反相 2 ㇄ 則殺 1 回回	3 [延長] 反相 2 則殺 1 ㇀ 回回	3 ㇄ 反相 2 則殺 1 ㇄ 回回	3 反相 2 則殺 1 回回	2	6	×
氏名		友井	木和田	石田	船津	坂田				
時間		3分 51秒	6分 13秒	16分 02秒	2分 27秒	2分 07秒				

戦評

初戦を快勝し勢いに乗る北海道と昨年国体5位の実力ある大阪の注目の一戦である。先鋒戦、北海道植根が小手を先取。大阪友井が出足鋭い小手を決め一本ずつの勝負となり、大阪友井が鏢競り合いから引き面を決め先行した。次鋒戦、北海道畠山が遠間から面を決めた。二本目開始直後、大阪木和田が豪快な面で対とし、延長へ入った。再び北海道畠山が追い込んで面を捉えた。続く中堅戦、大阪石田が鋭い攻めで小手を先取。二本目は大阪石田の突きを余して北海道栄花が面を決め延長戦に突入。双方日頃の稽古量を感じさせる素晴らしい技の応酬が続く中、北海道栄花が出足鋭い小手を捉えた。副将戦、大阪船津が目の覚める豪快な面、二本目は北海道古川が気力一撃の跳び込み面を返すが、最後は大阪船津の迫力満点の跳び込み面で大将戦に望みをつないだ。大将戦、北海道中山が鮮やかに面、そして二本目は追い込んで面と、大阪坂田に付け入る隙を与えなかった。両チームともに繰り出す技は最高で観衆を魅了した好試合だった。